

虚無

ある日 突然  
大切な人を亡くし  
心の色が消えた  
何もかもが空っぽ  
何も感じない

小さくなったその人を抱いて  
電車の中から見たのは  
空と海

空は蒼  
海は碧  
春なのに  
凍り付くかのごとく 冷たい

いつしか 空と海は  
凍心を ゆっくりと撫でた

今度こそ  
泣いてしまっても  
恥ずかしくても  
いいから  
大好きと 言いたい